

まほろば秦野通信

令和元年9月20日

タイトル	参加者募集 古典の日・文学講演会 「小倉百人一首の撰歌過程と歌 ～ 一、二番歌と九九、百番歌を中心に～」
When (いつ)	11月9日(土) 午後1時半～3時
Where (どこで)	図書館 視聴覚室(平沢94番地の1)
What (なにを)	「古典の日」を記念し、小倉百人一首をテーマとした講演会を開催します。
How (どのように)	全日本かるた協会理事の津久井勤(つくい つとむ)氏を講師に招き講演会を開催します。(講師のプロフィール等は別紙ちらしをご覧ください) 「百人一首の選歌経過」について説明をいただき、1, 2番歌と99, 100番歌が選ばれた過程とそれぞれの歌人の紹介を行い、それぞれの歌人の百人一首とそれ以外の和歌について紹介していただきます。 【申し込み】10月1日(火)から受け付け
Why (なぜ)	平成24年9月5日に公布・施行された「古典の日に関する法律」により11月1日は、「古典の日」となりました。図書館では市民の皆様が古典や文学に親しむ機会としていただくため、文学講演会を開催するものです。 今年度は小倉百人一首を取り上げます。
過去の実績	平成26年度は「源実朝の和歌の世界」、27年度は、「源氏物語への招待」、28年度には「谷鼎と丹沢の風土」、29年度は「源氏物語」ーこどもと大人の言語空間、30年度は「源実朝と斎藤茂吉」をテーマに講演会を開催しました。
今後の取り組み	来年度以降も引き続き古典や文学に関する講演会を開催していく予定です。
問い合わせ	図書館 担当: 山口 電話0463(81)7012

古典の日・文学講演会

小倉百人一首の撰歌過程と歌

——二番歌と九九、百番歌を中心に——



後鳥羽院

(wikipedia より引用)



天智天皇

(wikipedia より引用)



順徳院

(小倉百人一首辞典より引用)



持統天皇

(wikipedia より引用)

日時

令和元年11月9日(土)

午後1時30分～3時

講師

津久井 勤氏

(全日本かるた協会理事

元東海大学教授、工学博士)

会場

図書館2階 視聴覚室

定員 80人(申込み先着順)

問い合わせ・申込み先 秦野市立図書館

秦野市平沢94-1 電話 0463-81-7012

小倉百人一首

1冊。和歌。鎌倉時代の秀歌選。藤原定家撰。別称「小倉山荘色紙和歌」「百人一首」。文暦2年(1235)5月の成立と見る説と、文暦2年9月以降家隆が没する嘉禎3年(1237)4月以前の成立と考える説などがある。但し、現存伝本に記される「後鳥羽院御製」「順徳院御製」という作者名は、両院の諡号の決定が、定家没後のため、定家自身の記載とは考えられず、両院の歌の選入などについては定家の子為家による補正の手が加わっていると見る説もある。

【内容】天智天皇の「秋の田のかりほの庵のとまをあらみわが衣手は露にぬれつつ」の歌から順徳院の「ももしきや古き軒端のしのぶにもなほあまりある昔なりけり」の歌まで、百人各一首の秀歌を、ほぼ歌人の時代順に配列している。作者は男79人(僧13人を含む)、女21人である。

(『日本古典文学大辞典 簡約版』岩波書店より抜粋)

講師 津久井 勤氏

一般社団法人全日本かるた協会理事 企画部長 神奈川県かるた協会会長
東海大学元教授・工学博士。

全日本かるた協会関係：協会機関紙「かるた展望」(年2回発行)の発行責任者。
1995年から今日まで毎回投稿、主として百人一首の歴史に関すること、競技かるたの歴史に関すること、かるた大会と開催都市の縁の所への訪問記事、かるた札の調査に関すること、最近では百人一首「女流歌人21人」のシリーズを手がけている。

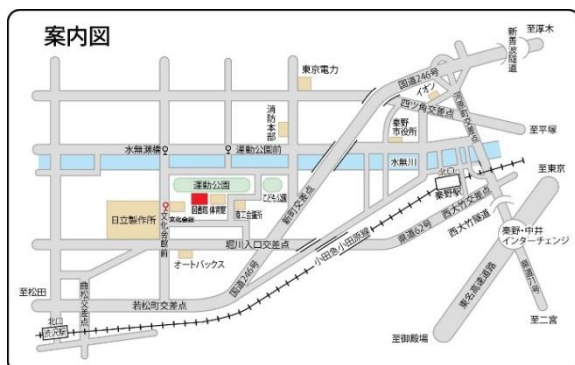
白幡洋三郎編「百人一首万華鏡」思文閣出版(2005)の中で「競技かるたの歴史と課題」執筆。

神奈川歴史研究会創立30周年記念誌『さがみ』に「相模縁の小倉百人一首の歌人たち」掲載。

講演要旨(講師より)

秦野市立図書館においては、百人一首の内容についてお話するのが、今回初めてののために、まず「百人一首の選歌経過」についてお話します。

続いて、1, 2番歌と99, 100番歌が選ばれた過程とそれぞれの歌人の紹介を行います。続いてそれぞれの歌人の百人一首とそれ以外の和歌について紹介します。



会場のご案内

- 秦野駅から
小田急小田原線秦野駅北口
バス 3番のりば…「文化会館前」下車
- 渋沢駅から
小田急小田原線渋沢駅北口
バス 1番のりば…「文化会館前」下車